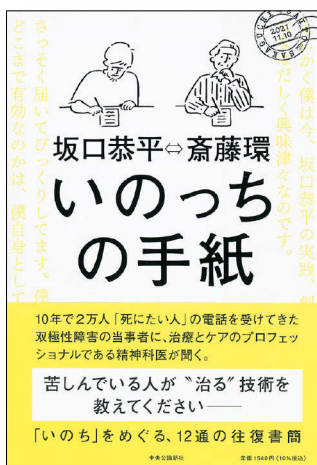




いのちの手紙

斎藤環、坂口恭平＝著

定価1,540円（本体1,400円＋税10%）

中央公論新社 ☎03-5299-1740

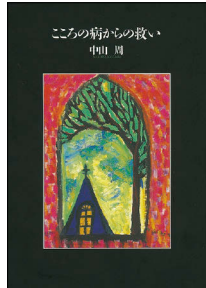
死にたい気分にとらわれてしまった人からの“いのちの電話”をめぐる往復書簡。手紙を交わすのは、精神科医の斎藤環氏と、携帯電話番号を公開し、見知らぬ人からの相談を10年以上受け続けている双極性障害の坂口恭平氏。まずは、傾聴するのではなくその人が「一番マシ」だったものをみつける、という坂口氏の相談の受け方に焦点が当てられる。また、自身が気分の波がありながら、どうやって電話に出ているのかという点も。次に話題は、一昨年は一度も寝込まなかったという坂口氏の鬱の「乗りこなし」方へ。万人に有効な方法かどうかはわからないが、この本には常識がくつがえるかもしれない要素が満載だ。

こころの病からの救い

中山周＝著

自費出版につき先着40名のみ頒布可能。

希望者は送付先を shiraishimas900@gmail までお知らせ下さい。



文学者を父にもつ娘と医師の間に生まれた3人の子どもたちは、全員が難治性に類する精神の病だった。親の苦悩と葛藤、子どもたちの闘い。筆者は静謐な筆力を持つ母。壮絶な話ではあるが、読後感はある。信田さよ子氏、斎藤道雄氏の寄稿もある。

自慢話でも武勇伝でもない「一般男性」の話から見えた生きづらさと男らしさのこと

清田隆之（桃山商事）＝著

定価1,540円（本体1,400円＋税10%）

扶桑社 ☎03-6368-8875



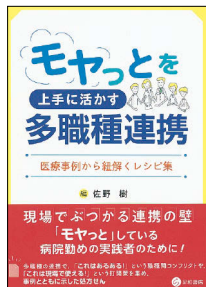
コミュカで出世したエリート会社員、孤独と非モテに悩んだインテリ男子、スペックに絶対的な自身を持つ東大生、アプリで遊びの関係を重ねるED男子、妻にDVをして離婚を経験した医療従事者など、10人の身の上話。見たくなかった自分と向き合った男たちの記録。

モヤっとを上手に活かす多職種連携 医療事例から紐解くレシピ集

佐野樹＝編

定価2,640円（本体2,400円＋税10%）

星和書店 ☎03-3329-0031



同じ現場にいても、職種が違っても、認識の仕方も使用する言語も違い、すれ違うのはよくあること。そんな「モヤっと」を冷静に、対立に発展させずにによりよい連携に導く方策を事例とともに提示。多職種間での医療現場あるあるを解消するだけでなく、活かしていく打開策を集める。

子どもの精神科入院治療 子どもを養育するすべての人へ

金井剛、中西大介＝著

定価2,640円（本体2,400円＋税10%）

明石書店 ☎03-5818-1171



三重県立子ども心身発達医療センターの実践記録。同センターの歴史は60年を超え、児童精神科病床数では全国で2番目。多くの職種が、大切なこととして「子どもと遊べるようになること」と答える。事例多数。医療職ではない人にもヒントは多い。